

常任委員会・特別委員会活動報告

総務常任委員会

付託された「個人情報保護条例の全部改正」について、6月より審査を始め、第3回定例会で審査報告を行いました。

結果は、修正した案を提案し、本会議で可決しました。詳細は議会のホームページをご覧ください。今後も町長から提案される条例に対し慎重審議を行っていきます。

国の「まち・ひと・しごと」地方創生長期ビジョンと総合戦略に対して本町でも、町の特性を踏まえた「人口ビジョン」や「総合戦略」を策定中ですが、委員会としても、所管事務調査として審査を行っています。

これまで、町の取り組み状況の把握や北海道の担当部長からの聞き取りなど情報共有を行いながら、総合戦略に向けた検証や議論を行い、町長との意見交換など積極的に関わっているところです。

厚生文教常任委員会

大変、幅の広い委員会であり、生活にすぐ結びつく密着度の高い委員会です。

7月16日から17日の2日間の日程で町内・町外現地施設視察が行われました。

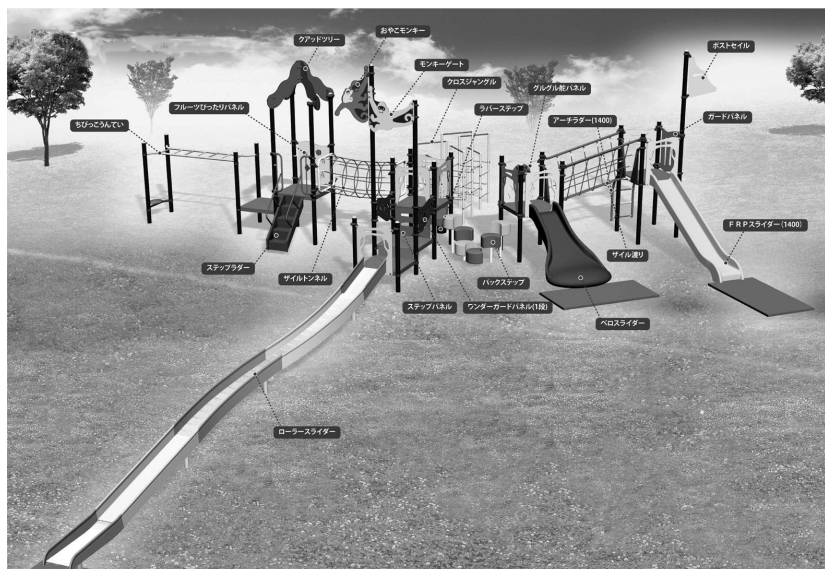
町外視察地として、京極町学校給食センター・留寿都村保育所・ニセコ町民センターなどを視察し町内施設としては、固形燃料化施設・旧東陵中学校・高砂水源池・統合保育所建設予定地などを視察し、町内施設の現状を把握する重要な研修となり、今後の活動に活かしていきます。

経済建設常任委員会

6月から9月にかけて、新委員との情報共有と現状把握のため、町内外の視察を行いました。

農業関連では作況や農協の施設、花園牧場に係る諸課題について、観光においては、現在、多くの開発行為や建設が進むニセコひらふ地区の諸課題について取り組んでいます。

た公園整備では、平成27年度、旭ヶ丘総合公園水遊び広場に大型の遊具の設置が予定されています。設置予定の遊具の内容や遅れている工期など、担当課と協議を進め、工事費の不足分の補正予算を承認しました。



わんぱく広場に設置する遊具のイメージ図

備とトイレや水飲み場の更新などを進めるよう、申し入れしました。

また、9月の局地的な豪雨による災害現場の視察や補正予算対応など、委員会として迅速に活動しています。

自衛隊駐屯地 特別委員会

8月18日、前田倶知安駐屯地司令並びに北海道施設局より北橋防衛技官ほかにご来庁頂き、本年度の「防衛白書」に関する説明会、わが国を取り巻く安全保障環境の変化などを改めて勉強しました。

今後の活動として、11月上旬に北部方面総監並びに第11旅団長へ、更に中旬には防衛大臣並びに国会議員への要望を予定、倶知安駐屯地拡充に向けての確かな手応えを感じています。

議会活性化特別委員会

9月の議会だよりで「まちなか懇談会」の案

内を始めました。この懇談会は、町民の皆さんの声をじかに聞く場です。で、いつでも、どこでも開催いたします。町民の皆さんの申込みをお待ちしております。

議会活性化に向け課題の整理を行いました。さまざま課題を①開かれた議会にすること

②議会運営に関すること
③議員、議会の資質の向上に関すること
3つのテーマに分類し、優先順位を決めて取り組んでいきます。

①では、まちなか懇談会がスタートしましたので次は「議会報告会」の検討を始めます。

②では、委員会のあり方や予算特別委員会の可否について検討を始めます。「できることからどんどん取り組んで行く」をモットーに進めて行きます。

町民の皆さんの声もお寄せ下さい。



あけぼの子どもセンター「愛遊夢（あゆむ）」
1階天井一部が歩けるネット仕様（土別市）

統合保育所に関する 特別委員会

7月6日の臨時議会で議長を除く15人の議員で構成される統合保育所に関する特別委員会を設置し、三島喜吉委員長、作井繁樹副委員長が選任されました。

保育所整備については、長年の懸案事項でもあり、平成24年8月に『子ども子育て3法』が制定され、現3幼稚園と保育所と連携の中で、具体的に歩み出しました。

員会を開催し、俱知安町幼保再編支援基本方針及び建設予定地として俱知安町南3条東5丁目の町有地を候補地として選定した経過の説明を受けました。

現在、用地測量を終了し、基本計画策定に向け、指名型プロポーザル方式を採用して業者選定を行っています。

俱知安町の保育所を統合して平成30年開所を目指して、議会として将来を託す子ども達の健全で健やかな成長を願いながら、議会としての意見反映の方策を探りながら活発に議論を重ねてきています。

8月6日から7日の日程で先進地視察を行いました。

奈井江町の認定こども園「はぐくみ」では、子育て支援に対するニーズの多様化を受け、多機能な施設整備が保護者から望まれ、複合施設として

子育て支援センターが併設されています。利用にあたっては隣接する美唄市、浦臼町をはじめ中空知5市5町村と協定を結び広域入所を実施しています。

美瑛町では、「美瑛町地域材利用推進方針」に基づき、北海道森林整備加速化林業再生事業を活用して整備された美瑛図書館を視察。地場産カラマツ材を使い、障がい者、子ども及び高齢者の利用に配慮した段差解消のバリアフリー仕様としています。

土別市は、子ども子育て日本一を掲げ、「子どもの権利に関する条例」を定め子育て支援に積極的に取り組んでいます。

平成24年3月完成の「あいの実保育園」は一時保育と子育て支援センターを併設しています。

あけぼの子どもセンター「愛遊夢（あゆむ）」は多機能な児童館



黄金ふれあいセンター（恵庭市）

として高校生までの利用ができます。

恵庭市の「黄金ふれあいセンター」は子どもの居場所づくりとして整備された子育て多機能複合施設で、地域コミュニティ機能も併せ持ち、北海道森林整備加速化林業再生事業を活用するなど、自主財源の低減に努めています。

この度の視察を踏まえ、

今後の保育所の運営方法や現場の意見の取り入れ方等、今後大いに参考になる研修をさせていただきました。今後も特別委員会として町民の皆さんのニーズを満たす保育所づくりを目指していきます。